

【検証する取り組み名】 14ページ 子ども及び若者のまちづくりへの参加促進(青少年育成活動)

	平均	委員評価欄
◎取組推進方針	3	【内容/スケジュール/方向性】取組内容について、目的達成、課題を解消していくことができそうか。
◎取組状況など	3	【取組んだ内容/実績】取組んだ内容及び実績について、目的が達成できたか。
		<p style="text-align: center;">市民の役割、市民ができること</p> <p style="text-align: center;">行政の役割、行政がやるべきこと</p>
◎改善点、不足する部分など、見直すべきところがあれば、具体的に挙げてください。		<p>①子ども・若者が<u>どうまちづくりに参加したのか、よくわかりませんでした</u>。地域の課題について、<u>子ども達が調べてその解決策を提案するとか、直接、まちづくりに関わるようなことをやった方がよい</u>と思います。</p> <p>③まちづくり活動の<u>多様な担い手の中でも、子どもと若年層の活力に期待するところは大きい</u>。地域行事の工夫・盛り上げはもちろんだが、<u>担い手となる子ども・若年層へのフィードバックも期待できる</u>。できれば<u>参加にとどまらず、参画できることが望ましい</u>。成人式のように、負担はあっても主体性を持って取り組めるような形は評価できるかと。</p> <p>④コロナ禍で人数制限がされた行事や細部にわたる準備をしながら中止せざるおえなかった行事もあります。参加促進が難しい中、開催された地域は成果があったと思います。<u>若者や子どもたちに関心を持ってもらうためには、大人が地域に関心を持つこと</u>です。</p> <p>⑤地域の子どもたちを見守り、<u>ボランティアへの参加し易い環境を作り出すこと</u>。</p>
※「2. 取組状況など」の設問に対する評価で1~3を選択された場合、特にご記入ください。		<p>②<u>他地域の青少年をまきこんだ良い実績を集めて紹介する試み</u>は、今後もより多くの機会を使って行う。ただし、<u>ホームページに載せた、広報に入れただけでは情報が一方通行で、どれだけ多くの人に、どれだけ深く心に響いたか分からない</u>。この点を大切にしたい一手に期待したい。</p> <p>③若年層が関心を持って取り組めるような<u>仕掛け(アイデア・仕組み)の工夫と、参加・参画を促す情報発信及び参加後のフォロー</u>があればなおよい。(もちろん、これは<u>主催する地域団体側の役割でもあるが</u>)</p> <p>④<u>行事を開催できなかった地区や団体の今年度の活動も評価してください</u>。何度も会議を重ね断念した団体がたくさんあると思います。<u>若者が参加しやすい行事を団体と連携して企画して</u>いただきたいと思います。</p> <p>⑤青少年が<u>活動し易い場の提供</u>をお願いしたい。</p> <p>⑥中学生や高校生であればいろいろな意見を持っているはず。<u>積極的に意見を徴収して思い切ってやってみることが重要</u>と考える。ダメかどうかではなく、<u>行動する後押しを市には期待</u>します。</p> <p>⑦<u>市内在住で市外の学校に通う高校生、大学生がまちづくりに参加できる機会を作る</u>。対象となる学生が周知しやすいようにする。</p>
新しい取組の提案などがある場合、アイデアをご記入ください。		<p>①<u>駅前活性化のとりくみに、高校生が関わってくれととてもよい</u>と思います。</p> <p>③学校ではボランティア精神の涵養に熱心であり、在学中の生徒・学生の行事等への参加意欲は比較的高いと思われる。ただ、学卒後となると、<u>どうしても地域とのかわりが薄れ気味になりやすい</u>。若年層の存在はCSにも期待されるところだが、こうした<u>学卒後の若年層への情報発信などの働きかけ</u>ができないか。(情報提供やボランティア研修など)。もちろん、すでにやっておられることと思われるが。</p>
5つの基本原則のうち特に該当する項目(3. 満足・2.可・1.不満)		<p>【このシートのまとめ】→→→答申の「素材」となる部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ■まちづくりの担い手として、子どもと若者の活力に期待 ■まちづくりへの参加は、子ども・若者と地域の双方にメリットがある <ul style="list-style-type: none"> →成長、地域活性化、まちづくり活動に関心を持つきっかけなど ■「参加」だけでなく「参画」にも期待 <ul style="list-style-type: none"> →参加・参画機会の確保 ■参加・参画しやすい、したくなるボランティア、行事の工夫を <ul style="list-style-type: none"> →テーマ(IT、情報発信など)、環境、情報提供の工夫など ■子ども・若者に地域に関心を持ってもらうには、<u>まず大人が地域に関心を持つこと</u> ■卒業後や市外に通学している子ども・若者にも働きかけができることよい。 ■行政の役割は、子ども・若者のやる気を後押しすること
自由意見 コメント		<p>①個人の「主張」も良いと思いますが、グループで地域プロモーション動画をつくるとかすると、<u>子どもの成長と地域づくりを両方達成できる</u>と思います。</p> <p>②「<u>中学生と語る会</u>」は、他地区にも参加を広めたり、高校生にも参加してもらうなど、<u>やり方や参加者をさらに工夫すると、もっと効果的になる</u>と思う。コロナ禍で大変ではあるが、より多くの人が一歩家から出て、子どもと関わる、子どもに話しかける、話しかけられないなら拍手する...そんな場面が増えていくと<u>元気のサイクル</u>が生まれてくると思う。街並みに人出があるだけで、うきうきして外に出るエネルギーが湧く、そんなよいサイクルを私も含めて作っていきたい。(各種団体の行事にまかせっきりでなく) 「学校ではこんな努力を...、公民館ではこんな努力を...」という紹介で終わるのではなく、この努力を生み出すために、「社会教育課ではこんな働きかけをしました、その結果、学校ではこんな動きが...」とか「公民館ではこんな動きができました。」という報告があるとさらに評価が上がりやす。</p> <p>③ボランティアの減少、高齢化、硬直化が指摘されて久しい。他の年代に比して若年層の地域ボランティアへの参加は少ないため、異年齢間の交流や地域文化の継承等に不安が残る現実がある。<u>若年層は、総じて横の繋がりがあり、ITに強く情報発信力も高い</u>。また、親としての立場であれば、その子への影響力も大きい(<u>親が出れば子も付いてくる</u>)。仕事や子育て等々も含め多忙ではあるが、ボランティアへの興味はあっても<u>参加に踏み切れない事情、参加の妨げになっている要因(休みがとれない、情報がない、価値観が異なる...)</u>を分析することも人口減の中での若年層のウエイトを考えれば喫緊の課題でもあるかと。</p> <p>⑤<u>ボランティア活動により、地域の方とのふれあいに意義を感じ、青少年の育成に繋がっていく</u>と思います。<u>瑞浪北中の生徒さんと語る会</u>は土岐、明世、日吉、大湫、釜戸の5地区のまちづくりとの交流の場であり、<u>お互いの意見を聞くことができ、スキルアップできる貴重な空間</u>であると思います。又、<u>地域を超えた子どもたちの活動にも、まちづくりの活動にも、大きな財産</u>になると考えます。</p> <p>⑦<u>子どもの頃にボランティアや地域行事に参加した経験は、将来、まちづくりに興味を持つきっかけになる</u>と思います。より多くの子供たちや若者が参加できるような取組が増えると良いと思います。</p>
全体評価 (平均)	3.3	<p>5.目標が十分に達成され大いに評価ができる</p> <p>4.目標達成に向けた取組ができている</p> <p>3.一部見直しが必要</p> <p>2.全体的な見直しが必要</p> <p>1.取組としての掲載不要</p>